

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスー之江教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様の得意なところを伸ばしながら、苦手なことにも挑戦できるよう支援を行っていること。	ご利用者様の得意なことや好きなことを伸ばしていき、自己肯定感の向上や「できた」を沢山感じられるような支援を意識して行っている。 ご利用者様の特性や状況に合わせて、トレーニングへの取り組み方を臨機応変に対応している。	特性理解や支援方法等職員のスキルアップや専門性を高める勉強会や事例検討会を設け、多角的な視点を持ちながら一人ひとりのアセスメントや支援を目指す。
2	ご利用者様や保護者様が安心して事業所を利用できる環境作りを行っていること。	毎日の打ち合わせにて当日のご利用者様の情報共有を全職員で行い、配慮する点や支援方法など共通認識をもって支援ができるようにしている。 また明るく楽しい教室の雰囲気づくりや教室の設備の見直しなどを意識して行っている。	職員間で連携がとりやすい職場環境や情報共有の仕方について検討する。 ご利用者様が安心して楽しく通所できるような関わり、遊び、トレーニング内容やイベントの立案を行う。
3	毎月季節に合ったイベントを企画し行っていること。	それぞれの季節や行事に合わせた工作や調理、遊びなどを企画し、内容が重複しないように調整している。 毎月のイベントのほかに、夏休みなどの長期休暇にミニイベントを開催し、活動に飽きないように工夫している。	昨今の夏季の気温上昇によりなかなか公園遊びや外出イベントを実施できないこともある為、時期をみて新たな外出先を検討する。 ご利用者様からやってみたいこと、作ってみたい物などアンケート調査を行い、実現に向けて検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上、送迎時に保護者様から話をうかがいにくいこと。	複数利用者様のお迎えの時間が重なる場合、エントランスが狭く密集してしまう為、個別にお伝えしたいことや保護者様からの相談を受けにくいことがある。	連絡帳への詳細記載や面談、電話、メール等の活用。 相談室まで来ていただきやすいよう導線の確保をする。
2	避難訓練や教室内の各種環境整備マニュアル等について、保護者様への周知が不十分であったこと。	各種マニュアルの作成と職員間の情報共有は行っていたが、ご契約時や避難訓練実施時の説明が不十分であった。	毎月発行しているハッピーテラス通信にテーマとして掲載していたが、分かりにくかった為大きく見出しを付ける等工夫する。 連絡帳などで事前予告し周知を行う。
3	地域施設や地域の子供たちとの交流がないこと。	希望されない保護者様もいるため、積極的に行うことはなかった。 利用者家族に対してニーズ調査を行っていなかった。	地域交流を希望されない方の意見も受け入れながら、なごみの家などの活用を検討する。